



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成26年2月3日

上場会社名 株式会社 鶴弥
 コード番号 5386 URL <http://www.try110.com>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 管理部長
 四半期報告書提出予定日 平成26年2月10日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東 名

(氏名) 鶴見 哲
 (氏名) 村瀬 雅俊

TEL 0569-29-7311

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	8,856	7.7	784	15.9	761	20.4	453	△29.7
25年3月期第3四半期	8,219	△12.2	677	△45.2	632	△45.4	645	△0.8

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	58.51	—
25年3月期第3四半期	83.25	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	18,285	10,842	59.3
25年3月期	17,540	10,484	59.8

(参考)自己資本 26年3月期第3四半期 10,842百万円 25年3月期 10,484百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	7.50	—	7.50	15.00
26年3月期	—	7.50	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	7.50	15.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年 3月期の業績予想(平成25年 4月 1日～平成26年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,500	9.1	834	20.1	802	25.9	474	△26.1	61.16

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年3月期3Q	7,767,800 株	25年3月期	7,767,800 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

26年3月期3Q	10,432 株	25年3月期	10,432 株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期3Q	7,757,368 株	25年3月期3Q	7,757,369 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想については、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
第3四半期累計期間	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、海外景気の回復等にも支えられ、家計所得や投資に増加傾向が続く、個人消費等が持ち直すなど、緩やかな回復基調となっております。

当業界におきましては、消費税率引上げ前に伴う駆け込み需要が見られましたが、住宅ローン減税の拡充や、すまい給付金などの住宅取得支援策などにより、引き続き緩やかな住宅需要の増加が続くと見込まれます。一方で、建築需要の増加による施工価格や資材価格の上昇、施工作業員確保の難しさ、円安等の影響による燃料価格の高騰など、厳しい経営環境に直面している状況にあります。

このような状況下、当社では、主に新築住宅に用いられるF形瓦が好調に販売を伸ばし、特に新製品である「スーパートライ110スマート」は、従来のF形瓦と共通した高い防災性能と、直線的なデザインとフラットで洗練された形状、加えて遮熱性能を付加した製品として、お客様から高い評価を得ております。一方で、全国各地の施工業者とイベントや展示会を共催し、製品と施工のPR活動を図ったことにより、市場からの認知度が高まり、新規採用を頂いております。

売上高につきましては、安定した動きのJ形瓦に対し、F形瓦は大幅に販売を伸ばすことができ、また太陽光発電システム販売等も堅実に販売を伸ばすなど、全体では前年同四半期を636百万円上回ることができました。損益面につきましては、原材料や燃料価格の高騰に直面し、売上原価率は1.9ポイント増の74.8%に上昇しましたが、販売費及び一般管理費等の削減に努め、営業利益、経常利益は前年同四半期を上回りました。

この結果、当第3四半期累計期間の業績は、売上高8,856百万円(前年同四半期比7.7%増)、営業利益784百万円(前年同四半期比15.9%増)、経常利益761百万円(前年同四半期比20.4%増)、四半期純利益は453百万円(前年同四半期比29.7%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期会計期間末の総資産額は、前事業年度末に比べ744百万円増加し18,285百万円となりました。負債総額は、前事業年度末に比べ385百万円増加し7,442百万円となりました。純資産は、前事業年度末に比べ358百万円増加し10,842百万円となり、自己資本比率は59.3%(前事業年度末は59.8%)となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前事業年度末に比べ85百万円増加し1,682百万円となりました。

当第3四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、前年同四半期累計期間に比べ29百万円減少し、860百万円となりました。

これは主に、増加要因としては、税引前四半期純利益759百万円(前年同四半期比18百万円減)、たな卸資産の減少額165百万円(前年同四半期はたな卸資産の増加額142百万円)、仕入債務の増加額253百万円(前年同四半期比202百万円増)等によるものです。減少要因としては、売上債権の増加額450百万円(前年同四半期は売上債権の減少額43百万円)、割引手形の減少額142百万円(前年同四半期は割引手形の増加額655百万円)、法人税等の支払額118百万円(前年同四半期比296百万円減)等によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、前年同四半期累計期間に比べ49百万円減少し、189百万円となりました。

これは主に、有形固定資産の取得による支出199百万円(前年同四半期比119百万円減)等によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、前年同四半期累計期間に比べ79百万円減少し、585百万円となりました。

これは主に、長期借入金の返済による支出470百万円(前年同四半期比80百万円減)等によるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成25年4月30日の決算短信で公表しました通期の業績予想に変更はございません。

2. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,609,334	1,694,887
受取手形及び売掛金	1,657,726	2,343,437
商品及び製品	1,543,930	1,324,805
仕掛品	49,139	55,032
原材料及び貯蔵品	156,950	204,762
その他	143,277	104,696
貸倒引当金	△13,282	△17,118
流動資産合計	5,147,076	5,710,502
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,722,764	1,660,948
機械及び装置(純額)	563,659	563,084
土地	9,195,043	9,195,043
建設仮勘定	51,917	304,613
その他(純額)	346,698	314,082
有形固定資産合計	11,880,083	12,037,771
無形固定資産	63,952	56,989
投資その他の資産		
投資有価証券	320,328	354,016
その他	129,271	126,506
貸倒引当金	—	△685
投資その他の資産合計	449,600	479,836
固定資産合計	12,393,635	12,574,597
資産合計	17,540,712	18,285,100

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成25年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,772,921	2,223,466
短期借入金	1,700,000	1,700,000
1年内返済予定の長期借入金	590,000	345,000
未払法人税等	89,171	209,891
賞与引当金	226,317	133,024
役員賞与引当金	—	5,057
その他	489,304	796,713
流動負債合計	4,867,713	5,413,151
固定負債		
長期借入金	1,875,000	1,650,000
退職給付引当金	77,788	82,240
役員退職慰労引当金	194,231	211,492
その他	41,514	85,277
固定負債合計	2,188,534	2,029,009
負債合計	7,056,248	7,442,161
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,144,134	2,144,134
資本剰余金	2,967,191	2,967,191
利益剰余金	5,295,050	5,632,572
自己株式	△5,786	△5,786
株主資本合計	10,400,589	10,738,111
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	83,874	104,827
評価・換算差額等合計	83,874	104,827
純資産合計	10,484,464	10,842,938
負債純資産合計	17,540,712	18,285,100

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位: 千円)

	前第3四半期累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
売上高	8,219,256	8,856,080
売上原価	5,992,220	6,626,628
売上総利益	2,227,035	2,229,451
販売費及び一般管理費	1,549,927	1,444,807
営業利益	677,108	784,643
営業外収益		
受取利息	139	128
受取配当金	5,419	8,191
その他	22,239	19,107
営業外収益合計	27,798	27,428
営業外費用		
支払利息	42,203	34,734
手形売却損	5,704	5,015
その他	24,344	10,898
営業外費用合計	72,252	50,648
経常利益	632,653	761,423
特別利益		
固定資産売却益	2,324	503
受取保険金	143,424	—
特別利益合計	145,749	503
特別損失		
固定資産売却損	420	2,480
特別損失合計	420	2,480
税引前四半期純利益	777,982	759,446
法人税、住民税及び事業税	34,266	243,644
法人税等調整額	97,951	61,919
法人税等合計	132,218	305,563
四半期純利益	645,763	453,882

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	777,982	759,446
減価償却費	374,538	273,260
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△1,757	4,522
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△147,721	△93,293
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	5,057	5,057
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	3,529	4,451
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△485,123	17,261
受取利息及び受取配当金	△5,558	△8,320
支払利息	42,203	34,734
受取保険金	△143,424	—
売上債権の増減額 (△は増加)	43,278	△450,653
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△142,997	165,419
仕入債務の増減額 (△は減少)	51,324	253,892
割引手形の増減額 (△は減少)	655,234	△142,228
その他	29,216	184,164
小計	1,055,782	1,007,715
利息及び配当金の受取額	5,561	8,317
利息の支払額	△42,937	△36,649
保険金の受取額	287,497	—
法人税等の支払額	△415,341	△118,794
営業活動によるキャッシュ・フロー	890,561	860,589
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	120,000	—
有形固定資産の取得による支出	△319,239	△199,374
その他	△39,592	9,792
投資活動によるキャッシュ・フロー	△238,832	△189,582
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△550,000	△470,000
配当金の支払額	△115,060	△115,454
その他	△0	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△665,060	△585,454
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△13,330	85,552
現金及び現金同等物の期首残高	1,427,654	1,597,334
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,414,323	1,682,887

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社は、陶器瓦の製造・販売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。